

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M211N303	社会福祉学 (Study of Social Well-being)	専門基礎科目 健康科学

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	3	前	月・1	工藤修一 (福祉健康科学部) 内線：(10) 7947 E-mail：takamine@oita-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

看護師が社会福祉及びソーシャルワークを学ぶ(考える)ことの意義の理解を通して、より深い患者理解、また、全人的支援のできる看護師になることを目指す。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 医療(看護)と福祉の関係について説明できる。	○		○	○	○		○
2. 疾病がもたらす生活課題について説明できる。	○	○	○	○	○	○	○
3. 生活課題を緩和・解決するソーシャルワークの方法論を看護臨床に援用できる。	○	○	○	○	○	○	○

【授業の内容】

1～3	社会福祉の視点(人と環境の関係・病気と生活の関係)
4～7	ソーシャルワークの方法
8～10	生活保護法・児童福祉法・障害者総合支援法の内容と活用ポイント
11～13	介護保険法の内容と活用ポイント
14～15	当事者による講和と次代に求められる看護師像

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A:知識の定着・確認	○	小テスト	<ul style="list-style-type: none"> すべての事柄において、教員側からの「事後的問いかけ」があることを前提にした講義展開で実施し、また、ここでは単に「知ること」ではなく、「考えさせること」を主眼におく。 「教員の説明→学生の確認・検討→学生の発言→これに対する教員のコメント」を約30分クールで繰り返す。
B:意見の表現・交換	○	発問	
C:応用志向	○	事例検討・発表	
D:知識の活用・創造	○	発展的な事例検討	

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	次週レジュメを前週に配布し、これを事前に概観させる。(1h)
事後学修	小テストを実施し、知識の定着を図る。(2h)

【教科書】

使用しない。

【参考書】

適宜紹介する。

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3
講義中の発言など	30%	○	○	○
期末試験	70%	○	○	○

【注意事項】

【備考】

担当教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	医療ソーシャルワーカー (社会福祉)	
教員以外で指導に関わる 実務経験者の有無		
教員以外の指導に関わる 実務経験者		
実務経験をいかした 教育内容	臨実の素材をもとに事例鑑を行う。	
授業形態		